

診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業
第7回運営委員会 議事概要

日時 平成18年5月17日(水) 16:00~18:00

場所 日内会館 4階会議室

出席者:

(委員) 稲葉一人, 上原鳴夫, 大井 洋, 加藤良夫, 木村 哲, 楠本万里子, 黒田誠,
佐伯仁志, 瀬戸皖一, 高本眞一, 木下勝之, 樋口範雄, 福永龍繁, 山口 徹
(地域) 長崎 靖, 深山正久, 本間 寛, 的場梁次, 山内春夫, 吉田謙一
(オブザーバー) 岡崎悦夫(病理), 厚生労働省, 警察庁, 法務省
(事務局) 日本内科学会

1. 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の状況について <公開>
モデル事業の現在の状況についてについて説明。(資料1)
各地域の実施状況について説明。(資料2)

- ・ 評価結果報告書を交付した事例の数が増えないのはなぜか。
 - 地域評価委員会の委員の選定、特に法律関係者の選定が遅れている。
 - 解剖報告書案の作成が遅れている事案もある。

2. 事業実施報告書について説明 <公開>

前回の運営委員会では、3月時点のものをまとめだが、今回は直近の数字とした。

「参考資料」は運営委員会などで使用したものをもとに作成し、地域の体制を追加。

今後、1週間を目途に意見のとりまとめを行いたい。

3. これまでの主な相談事例・受付事例について <非公開>

(モデル地域での受付事例進捗状況を各地域代表者より説明)

東京地域の状況

- ・ 地域評価委員会開催中の案件には、ほぼ評価結果報告書がまとまりそうな事案もある。
- ・ 地域評価委員会が未開催の事例につきも、委員の選定等順調に進行している。
- ・ 前回の運営委員会以降に受け付けた事例の概要について報告

大阪地域の状況

・ 前回の運営委員会以降に受け付けた事例の概要について報告
兵庫の相談事例について(個別事例)

- ・ 大学へ献体された事案の取扱について。

事例の概要について

- ・ 警察への届出の有無や検視の実施状況の有無という項目では詳細が分かりにくいので、モデル事業に受け付けられた経緯が判るように工夫できないか。

4. 経費取扱規定 <以下公開>

経費取扱規程（案）について説明

1. 標準経費について

(2) 事務にかかる人件費及び旅費について

- ・ 臨床検査技師が事務を行っている場合、調整看護師との人件費の開きが大きいのではないか。
- ・ 資格ではなく、担当している業務によって支払い額を決めてはどうか。

2. 解剖関連経費について議論

(1) 「依頼病院調査担当医」 「総合調整医」へ修正

(2) 解剖担当医（法医・病理医）臨床立会医に係る経費について

- ・ 解剖執刀医が1名となっているが、主に執刀して者を決めるのは難しいのではないか
- ・ 解剖担当医2名で7万（5万+2万）として役割分担に応じて分けてはどうか。

(3) 解剖補助者等にかかる経費について評価体制のあり方について

- ・ 特に意見なし

(4) 施設使用料について

- ・ 消耗品にかかる費用が含まれるので「施設使用料」を「解剖に要する経費を含む」と変更してはどうか。
- ・ 「施設使用料」の名目では病院や大学の収入となり、解剖を行う教室で必要な経費となりにくい。

(5) その他の検査料など

- ・ 事例ごとに、法医・病理医・臨床医のそれぞれの立場で必要となる検査が異なり標準化しにくいため、明記されていない項目についてはその都度、総合調整医の了解をとることとする。

(6) 遺体搬送費について

- ・ 当初、搬送費はモデル事業側で負担するという取り決めではなかったか。
- ・ 司法解剖においては、解剖施設への搬入および自宅への帰宅などの搬送費は公費となる。搬送業者は入札で決定している。（平成17年9月に警察庁が所管する法で公費となった）
- ・ 解剖後、葬儀の日程調整のため、ご遺体を保管するケースもあるが、その際の保管に係る費用の負担について規定を決める必要があるのではないか。

(7) 評価結果報告書作成にかかる諸謝金について

- ・ 1事案10万円は、臨床評価医2人を想定している。3人以上の場合は、10万円に追加することを想定している。
- ・ 検案料について
 - 司法解剖の場合、遺族の負担はない。モデル事業においても、遺族の感情に配慮して、遺族に負担させない方がよいのではないか。

5. これまでの検討と今後の予定

- ・ 委員の選定で弁護士の選定が困難であるという理由は？
 - 事務的な対応が遅れているということもある(事務局の体制の問題)
 - 弁護士をリストアップして、あらかじめプールしてはどうか。
- ・ 愛知の4大学への説明を依頼しているが、どうなっているか。
 - これまで、東京、大阪の解剖施設、病院長に依頼した。次は愛知を考えている
- ・ 評価体制検討小委員会の開催について
 - 予定として6月に開催を考えている。委員はほぼ決まっているので、次回の運営委員会までに開催し、その結果を報告したい。

6. その他

- ・ 日医の会員の6割が勤務医であるが、モデル事業について認知されていないので、日医から会員に周知したい。
- ・ 受付事例が19例というのは少ないのではないか。受付に至らなかった事例のうち、「その他」の詳細を明確にしてほしい。

次回運営委員会 7月5日 16:00~18:00